

里海通信

能登町立小木小学校

令和5年8月8日

1学期も皆様のご協力をいただき、いろいろな学習ができました

5年生 総合「海をとりまく環境問題について考えよう」



5年生は、総合的な学習の時間で、「海洋ごみ」について学習しています。まずは身近な小木の海ではどうなっているか調べるために、東町の港に行ってきました。船を陸揚げするスロープに海藻が揚がってきます。それに紛れて、いろいろなごみが揚がっていました。拾ったごみをだまかに分類してみると、ペットボトルや発泡スチロールなどのプラスチックごみ、漁具が多く揚がっていました。安全に配慮しながら拾えるものを拾いました。小木の海にも人が出したごみがあるということが分かりました。

イカ釣り船団の見送り

6月14日、小木の町の皆さんが集まり、イカ釣り船団の見送りがありました。小木小児童も一緒に参加しました。安全な航行、大漁などの願いを込めて「いってらっしゃーい!」「イカいっぱいってきてね~!」そんな声がたくさん聞こえました。色とりどりのきれいな紙テープがしばしの別れに花を添えました。「イカの町、小木」を支えているのは漁師の皆さんです。そして、小木小の里海学習にもたくさんの支援をいただいています。これからも、「イカの町、小木」が持続的に発展していくことを意識して、里海学習に取り組んでいきたいと思ひます。



3・4年生 総合「イカについて調べてまとめよう」



3・4年生は、総合的な学習の時間で、「小木のイカ」をテーマに学習をしています。調べた内容を、発表用のスライドにまとめることを目標に取り組んでいます。その学習の一環として、5月28日、「イカす会」のイカの解剖に参加しました。イカの体の構造や、進化の過程について金沢大学の鈴木先生に教えていただきました。難しい内容もありましたが、体験的な学習に参加した児童は、皆真剣に取り組んでいました。

6年生 里海科「くふうしようおいしい食事」

6年生は、里海科で里海給食の献立を考えます。これは、栄養バランスを考えながら、地産地消を目指した給食を作ることを目標にした学習です。例年、2学期から3学期にかけて学習しますが、今年度は1学期から計画的に少しずつ取り組みます。今回は、汁物として「のと豚」を使った豚汁を作りました。名付けて「のとん汁」です。ゲストティーチャーとして里海教育研究所から2名の方にお越しいただきました。



5年生の家庭科の学習も活かし、煮干しで出汁をとりました。

自分たちでまとめた調理計画をもとに、みんなで協力して進めました。

少し試食させてもらいましたが、煮干しと豚肉の出汁が効いてとてもおいしかったです。他のおかずも決まって完成するのが冬になります。とても楽しみです。

これからも多くの里海学習の授業が計画されています。九十九っ子が、ふるさに愛着をもって成長できるように、2学期もご協力のほどよろしくお願ひします。